

税務署のお尋ね 呼び出しには

確定申告者へ収支内訳書の提出を求める等のお尋ね文書が税務署から届いたら、組合へ相談しましょう。税務署へ呼び出す税務調査も増えていきます。調査する旨の文書の場合も組合へ相談しましょう。



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

印刷部数11万3400部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人 三木 勉



目標達成の目玉を入れる松丸委員長(右)、小番書記長(中央)、檜山組織部長(左)

春の拡大月間 つながり引き出し 全都4%目標達成

2019年 春の拡大実績

支部名	月累	月間の拡大率	年間の拡大率
足立	220	2.52	4.38
荒川	☆84	4.18	5.37
葛飾	161	3.52	5.01
文京	37	3.28	5.06
台東	42	2.62	3.37
墨田	☆116	4.10	5.48
江東	☆166	4.77	6.59
江戸川	☆380	4.19	6.24
板橋	☆285	5.69	8.44
豊島	☆102	4.78	7.32
北	☆123	4.29	6.53
練馬	☆323	4.61	6.47
港	☆50	4.11	5.27
品川	63	2.97	4.72
大田	☆194	4.11	5.70
目黒	☆91	4.15	5.02
渋谷	☆131	4.34	5.71
世田谷	☆214	4.35	5.73
新宿	63	3.54	5.46
中野	☆203	4.33	5.82
杉並	☆172	5.08	6.79
三鷹	☆94	4.12	5.35
武蔵野	☆63	4.39	5.23
狛江	☆67	2.56	5.50
調布	☆186	4.85	7.51
多摩西部	☆155	4.06	6.08
西多摩	30	2.39	4.15
小金井国分寺	☆150	5.34	7.44
府中国立	77	3.49	6.72
八王子	☆103	4.19	5.99
日野	☆97	4.30	5.72
多摩・稲城	81	2.99	5.14
町田	☆117	4.15	6.39
小平東村山	54	3.21	5.05
清瀬久留米	☆79	4.41	6.03
西東京	28	1.41	3.73
村山大和	☆4,601	4.02	5.88

技能者集団をアピールし 地域とつながろう
第42回住宅デー開催



木工作は子どもたちに大人気

また、この時期に別々で行なわれていた芝中住宅イ号棟(全23棟約900世帯)自治会防災訓練も、5年前から同時開催に。今回も、東大和市消防団による放水訓練や、社会



超高木剪定に驚きの声

「今日は約30人の仲間が参加してくれました。地元の人を紹介するためにイラスト入りのチラシも作りました。事業所の仲間にはそれぞれの仕事を知らせる企画をだしてほしいと言っています。私は『超高木剪定』をやりましたと分会長の長澤仁志(長澤造園)さんは話していました。

東京土建では第42回住宅デーを6月2日に全都210会場、同日に1309会場、全体では5月上旬から7月上旬にかけて416会場で開催しています。他、会場の取り組みについても、今号4~5面に掲載しています。

村山大和 5目標達成の大和湖畔 自治会・消防団・社協と協力

6月2日、東大和市芝中中央公園で村山大和支部大和湖畔分会の住宅デーが行なわれました。当日は59人(組合員、家族)が参加しました。

大和湖畔分会は、昨年の住宅デーで5目標(組織人数の15%以上の参加者、組織人数以上の来場者、3件以上の住宅相談、来場者数の2%以上の顧客名簿作成、5つ以上の企画)を達成しています。今年も、包丁研ぎ、まな板削りはもちろん、焼きそば、焼き団子、綿菓子などの模擬店、木工コーナーなど盛りだくさんの企画。このほか、青年部OBが5年前から始めた塗装体験は、公園の物置や手すりなどを来場者に指導しながらペンキで塗装してもらうというもので、自治会の皆さんに喜ばれています。

渋谷 区イベントへ参加 西部は「超高木剪定」

渋谷支部は、昨年度分会再編してこれが2回目の住宅デーです。6月2日は、渋谷おとなりサンデー。区内在住者、在勤、在学者が、自分たち自身で地域交流・地域活動の場を企画し、6月第一日曜日に一斉に行なうことで、楽しいお祭りしようと思いついたものです。このイベントに渋谷支部が住宅デーで参加しています。西部分会は渋谷のお屋敷町にある鍋島松涛公園で行ないました。会場には焼きそばやフランクフルト、かき氷などの飲食コーナー、子ども縁日」と銘打ってヨーヨー釣り、スパーボールのテントが並び、子どもや若い親たちが賑わいました。公園の入り口で無料の苗を配りながら受付をしていた田中淳子さんの話では「通りがかりで寄ってみたいという人が多いですね。去年は外国人のお客さんが目立ったのですが」とのこと。11時ごろから、公園内の立ち木を使い「超高木剪定」。本日に剪定はしませんが、長澤造園の松崎豊さんがロープとハーネスで高所に上がると驚きの声があがりました。「今日は約30人の仲間が参加してくれました。地元の人を紹介するためにイラスト入りのチラシも作りました。事業所の仲間にはそれぞれの仕事を知らせる企画をだしてほしいと言っています。私は『超高木剪定』をやりましたと分会長の長澤仁志(長澤造園)さんは話していました。

「辺野古」 県民投票の会代表の元山仁二郎さんの話を聞く機会があった。元山さんが基地のことを話すと、「どうした、おまえ」と言われるそう。だから自分から話すこともない。そこで県民投票をやれば基地のことが話やすくなるのではと思ったという。

■県民投票の結果は辺野古埋め立て反対が43万票余で圧倒的多数だったが、この結果に沖縄タイムスが行なった46都道府県知事へのアンケートでは、結果を尊重すべきと答えたのは岩手と静岡の2人だけで、多くがどちらともいえない、ないしは無回答だった。元山さんは「沖縄はどうでもいいのか」と感想を述べた。

■沖縄県は2年かけてドイツ、イタリア、ベルギー、イギリスの地位協定を調査し、その結果を報告した。4カ国はいずれも駐留米軍などに自国の国内法を適用させ、行政による基地への立ち入り権を確保している。4カ国の地位協定と比べて、日米地位協定には国内法の適用がなく、自国の主権が確保されていない実態が明らかになった。

■全国知事会は昨年、日米地位協定の抜本的見直しを日米両政府へ提言している。私たちの運動次第では、それぞれの知事に沖縄米軍基地問題を国の専権事項などと言わず、自分事として考えてもらえることができるのではないだろうか。

